

新型コロナウイルス感染症対策に伴う外出自粛・休業等により浮かび上がった課題など（事務局の参考例示）（男女共同参画・女性活躍の関係分）

（マスコミ報道、県緊急事態措置コールセンターから情報収集したものを一部紹介）

1 家庭

（課題になったこと）

- ①学校や保育所の休止、在宅勤務に伴う育児・家事負担が女性側に偏っている。
- ②外出自粛・収入減・社会不安等によるストレスにより、児童虐待、DV、家庭内暴力（心理的なものも含む）が懸念。
- ③サポートが必要な家庭（例えば、生活困窮のひとり親家庭・通院や介護が必要な家庭など）において、職場の休業等で収入が減り、生活がさらに厳しい。

（転機になったこと）

- ①家族が揃いコミュニケーションがとりやすく、夫も家事等の役割分担に積極的に取り組むようになった。

2 働く場

（課題になったこと）

- ①休業等に伴う非正規社員（全国的に女性の割合が高い）の収入減または解雇。（特に生活困窮のひとり親家庭などは、早急な生活サポートが必要）
- ②在宅勤務について、家事・育児が一日中混在し、外出自粛で気分転換もできず、どこの施設も閉鎖であったため、どこかで仕事に集中できる場所が必要。
- ③学校や保育所の休止になっても、社内ルールがなく在宅勤務など柔軟な働き方が認めてもらえない。（休暇扱いのみ）
- ④新型コロナウイルス対策について、そもそも自らの会社でどのような対策が有効なのかわからない。（例、在宅勤務、チーム運営、営業のノウハウなど）
- ⑤女性の割合が高いケア労働者（保育、看護、介護等）の健康の確保が難しい。

（転機になったこと）

- ①在宅勤務により通勤がなくなり、仕事と家庭の両立が格段にしやすくなった。
- ②感染リスクの高い都市部に毎日通勤することに疑問を感じ、地元で柔軟な働き方ができる会社を探したい。
- ③形式的な会議や非効率な業務の取りやめ、時差出勤などを今後も継続したい。
- ④一部の社員の長期不在で業務全体がストップしないよう、柔軟な働き方やチーム運営の検討、社内マネジメントができる多様な人材の育成を急ぎたい。
- ⑤家族全体の収入が減り、今は主婦をしているが、これから仕事を探したい。

3 地域

（課題になったこと）

- ①感染リスクに過敏になって社会全体がギスギスし、他人の目が気になり、自らも他人の行動にイライラし、近所の人に優しい声かけられなくなった。
- ②ひとり暮らし高齢者・サポートが必要な人に必要な情報が届かず孤立した。

（転機になったこと）

- ①治安や生活環境の悪化が危惧され、地域の見守り活動の重要性を認識した。
- ②さまざまなことを気軽に安心して話せる身近な相談相手が必要と思った。